

かがやき

富士市立東小学校
学校だより
全国学力・学習状況調査号
令和8年10月2日

全国学力・学習状況調査とは

4月23日（木）に小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。目的は、文部科学省や教育委員会が全国的な子どもたちの学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることです。また学校には、子どもへの教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」があります。「教科に関する調査」は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等が、相互に関係し合いながら育成されているという新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査をしています。

◆調査結果から見える東小学校の子どもたちの成果と課題

1 学力調査（国語・算数）の結果の概要

国語では、国語辞典の使い方などの「基礎的な知識・技能」がしっかりと身についています。算数では、数の仕組みに関する問題や、グラフの傾向を読み取る問題で高い正答率が見られました。また、「単位量あたりの大きさ（混み具合の比較）」など、難易度の高い概念を正しく理解している児童も多く見られました。

これからの課題（伸ばしたい力）は、国語・算数共通の課題として、自分の考えや立式の根拠を、言葉や式を使って詳しく説明する「記述式問題」や「思考力・判断力・表現力」を要する問題に苦手意識が見られます。国語では文章を読みやすく推敲（すいこう）する力、算数では複数の条件が絡む複雑な表を正しく読み解く力に課題があります。

学校では、少人数の強みを活かし、一人ひとりのつまずきに寄り添った指導を徹底します。特に、授業の中で「なぜそう考えたのか」を言葉にする活動や、自分の言葉で文章を書く活動を意識的に取り入れてまいります。ご家庭におかれましても、以下の点についてご協力いただけますと幸いです。

- ・「どうしてそう思ったの？」と問いかける（日常会話の中で理由を話す練習になります）・宿題の丸付けの際、答えだけでなく途中式や考え方にも目を向ける
- ・短い文章でも、自分の考えを書く機会をつくる（日記や連絡帳など）

テストの結果はあくまで一側面です。子どもたちが「わかった!」「できた!」を実感できるよう、教職員一丸となって日々の授業改善に努めてまいります。



2 学習状況調査（児童質問紙）の結果から

【本校の誇れる強み】

特筆すべき項目は、「学校に行くのが楽しい」「普段の生活で幸せだと感じる」と答えた児童が100%だったことです。さらに、「先生が自分のよい所を認めてくれている」「学級会で友達とお互いの意見を生かし合っている」という項目も全員が肯定的に回答しました。東小の子どもたちが、温かい人間関係の中で自己肯定感を高め、毎日を生き生きと過ごしている充実した土台が数字に表れています。

【今後の課題と重点的な取り組み】

学びを深める「振り返り」が定着している一方で、これからの学力を伸ばすための「学習習慣」に明確な課題が見られました。「学んだことを見直し、次の学習につなげる」学んだことを生かして、自分の考えをまとめる」これら2つの項目が低かったです。「楽しかった」で終わらず、「何が分かり、何が課題か」を自分で見つめ直す『振り返りの力』の育成が急務です。

【保護者の皆様へのお願い】

「学校や勉強について家族と話す」割合もやや低い傾向にありました。学校でも授業内の振り返り指導を強化してまいります。ぜひご家庭でも「今日の授業はどうだった?」「どんなことを学んだの?」といった、温かいお声掛けと会話を通して、子どもたちの学びを支えていただけますと幸いです。